

「スマートフォンITSによる次世代自動車向けサービス創出事業」

経済産業省 中部経済産業局 補助事業

ヒヤリハット報告・お知らせシステム

活用する車両情報

GPS情報 | 車速 | エンジン回転数 | スロットル開度 | アクセル開度
ブレーキ操作 | ヘッドライト点灯 | ウィンカー・ハザードランプ操作

サービス概要

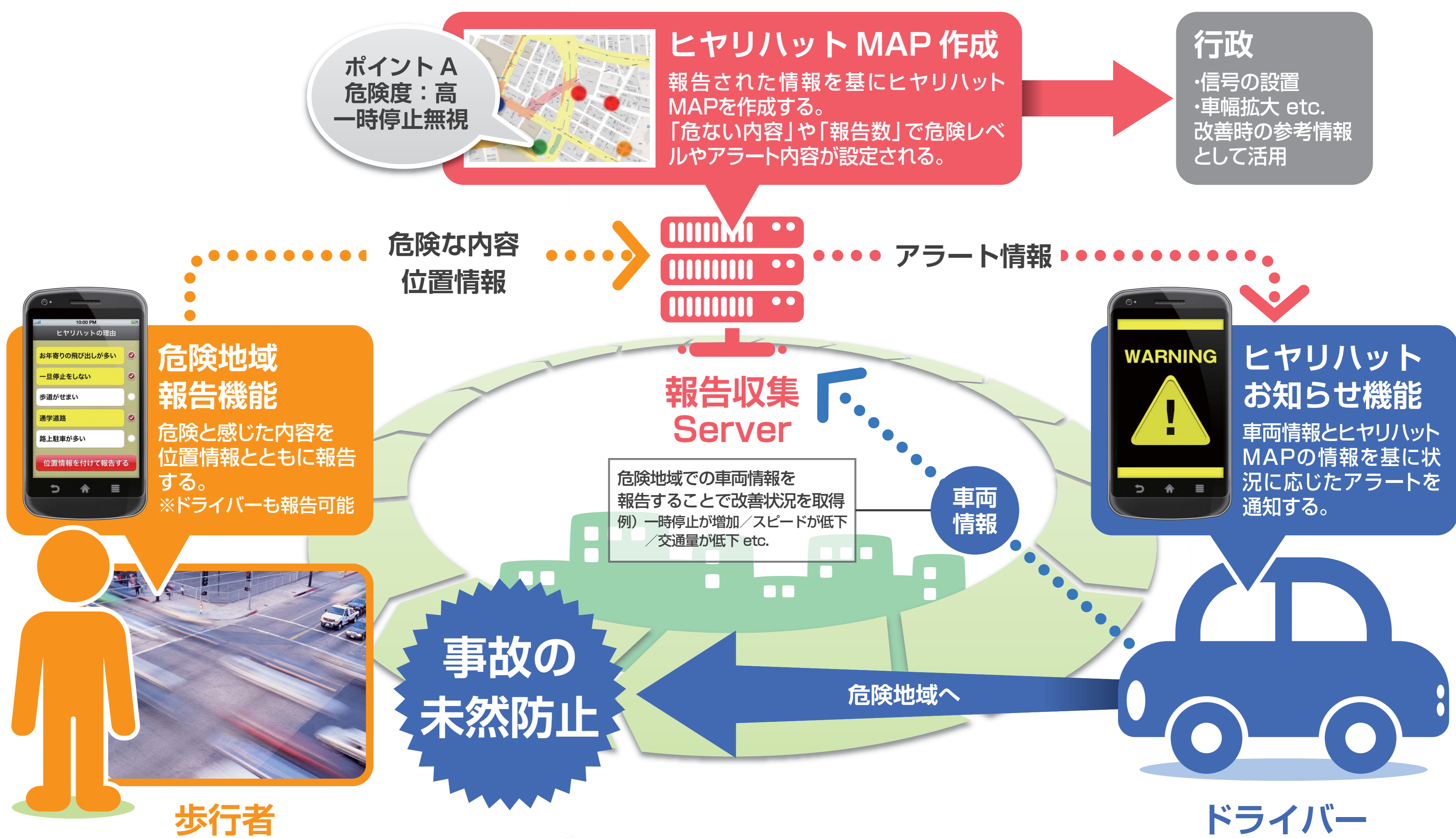
歩行者が危険と感じた情報を基にしたヒヤリハットMAPによって、ドライバーでは気づかない危険をドライバーにお知らせし、交通事故の未然防止と安全な地域社会を目指します。

危険ポイント報告 : 歩行者が危険と感じたポイントの位置情報と内容を報告します。

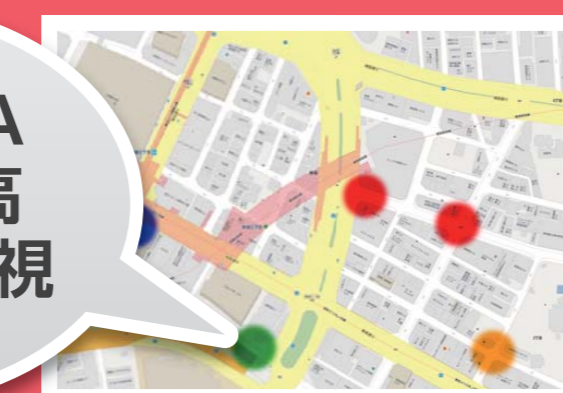
ヒヤリハットMAP作成 : 報告データの位置、理由、数などを基に、危険レベル、アラート内容を割り当てたヒヤリハットMAPを作成します。

ヒヤリハットお知らせ : 取得した車両情報とヒヤリハットMAPを照らし合わせ、ドライバーに事前通知します。

サービス構成



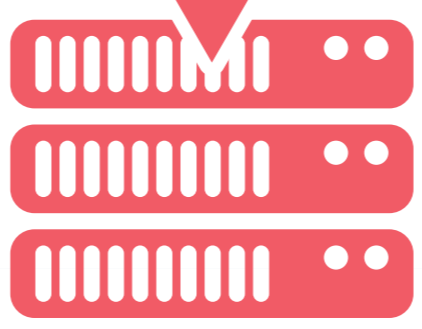
ポイントA
危険度：高
一時停止無視



ヒヤリハット MAP 作成
報告された情報を基にヒヤリハットMAPを作成する。「危ない内容」や「報告数」で危険レベルやアラート内容が設定される。

行政
・信号の設置
・車幅拡大 etc.
改善時の参考情報として活用

危険な内容
位置情報



アラート情報



危険地域報告機能
危険と感じた内容を位置情報とともに報告する。
※ドライバーも報告可能

報告収集 Server

危険地域での車両情報を報告することで改善状況を取得
例) 一時停止が増加 / スピードが低下 / 交通量が低下 etc.

車両情報



ヒヤリハットお知らせ機能
車両情報とヒヤリハットMAPの情報を基に状況に応じたアラートを通知する。

事故の未然防止

危険地域へ



歩行者



ドライバー



提供元：株式会社 エス・ケイ

